

中国の診断薬市場と 診断薬メーカーの調査 レポート



上海良罔商務諮詢有限公司

2010年12月

目次

第1章 診断薬の市場規模の研究	
1.1 診断薬市場の全体規模に関する研究	
1.2 診断薬市場の製品構成の研究	
第2章 診断薬の地域市場およびブランド集中度の分析	
2.1 診断薬の顧客分布	
2.2 地区毎における診断薬の規模	
2.3 病院数と市場規模の因果関係	
2.4 地域別の診断薬メーカー状況	12
2.5 診断薬産業に影響する重大な政策	14
第3章 診断薬業界の販売モデルおよび戦略状況	17
3.1 診断薬の流通チャンネルの概要	17
3.2 企業16社の販売モデル調査結果の分析	18
北京九強、北京科美東雅、北京万泰、寧波瑞源、北京利德曼、科華生物、上海復星、 寧波美康、鄭州博賽、鄭州安図、南昌百特、麗珠試劑、深圳匹基、賽爾生物、重慶埃夫朗、 四川邁克	
第4章 磁性粒子とラテックス市場および販売モデル分析	19
4.1 磁性粒子の市場状況	19
4.2 ラテックス市場状況	19
4.3 磁性粒子、ラテックスの販売モデル	20
第5章 中国の診断薬メーカーについて	22
5.1 中国の診断薬メーカーの概要	22
5.2 各地域における各メーカーの特徴	23
5.3 メーカー別の診断薬に使用原料状況	39
5.4 メーカー別のラテックス使用検査薬項目一覧表	42
5.5 メーカー別の磁性粒子使用の検査薬項目	45
5.6 メーカー別の金コロイド法項目一覧表	46

診断薬産業は現在、世界で最も活発で発展が速い業界である。2008 年度の世界における診断市場規模は約 550 億米ドル（機器、試薬を含む）で、5～7%の複合年平均成長率で成長している。

中国における診断産業の発展は 1980 年代から始まり 20 年あまりの発展を経てきた。それにより何もなかった時代から現在のように強く成長することができ、現在まさに産業が大規模に発展する条件が整ったといえる。中国における診断薬製品の主な使用者は病院 19822 軒、郷鎮診療所 39000 軒、血液ステーション 300 ヶ所であるが、さらに日進月歩の健診センターや現在流行し始めている臨床検査独立実験室も含まれる。2007-2009 年度の中国における診断薬業界の市場規模の複合年平均成長率は 17.93%に達し、世界の診断薬市場の成長率を大きく上回っており、急速な成長傾向がみられる。2009 年度の中国における診断薬の市場規模は 96.72 億元に達し、一人あたりの年間使用費用は 7.3 元となったが、2008 年度の日本における一人あたりの年使用費用は 227.5 元であり、これとは大きくかけ離れている。全体的にみると、中国の診断業界は成長期の初期段階にあるといえる。

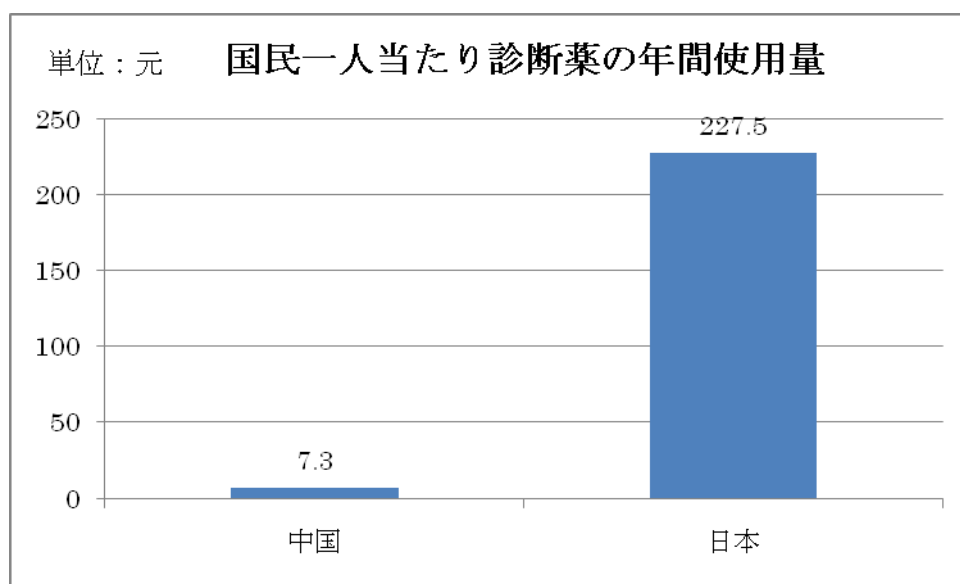
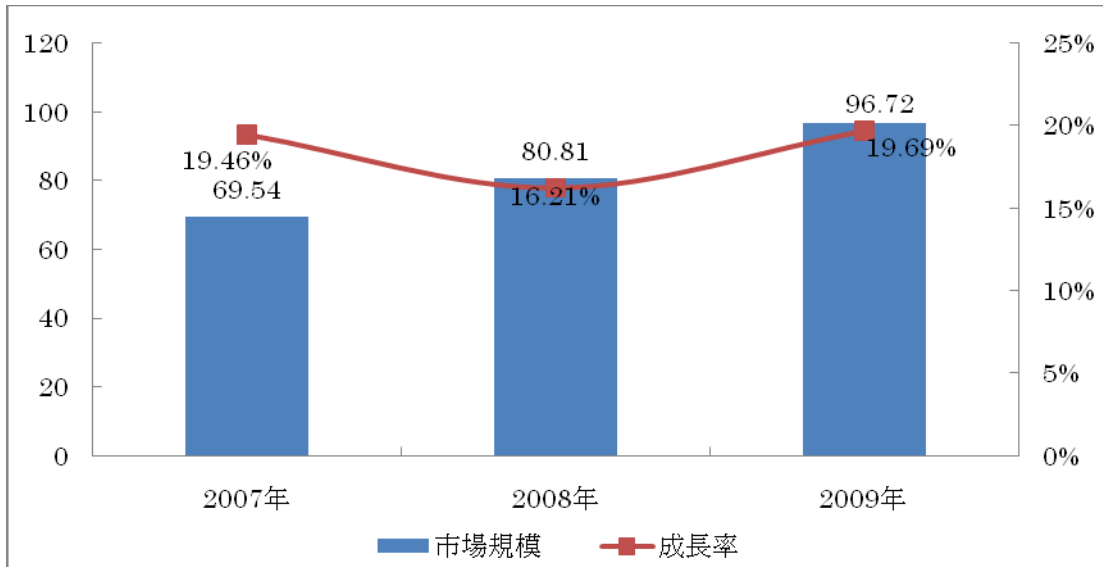


表 1. 2007-2009 年度の中国における診断薬の市場規模および成長状況

年度	2007 年	2008 年	2009 年
中国市場規模 (億元)	69.54	80.81	96.72
中国の成長率	19.46%	16.21%	19.69%
世界の成長率			

データソース：中国医療機器協会

図 2. 2007-2009 年度の中国における診断薬の市場規模および成長状況



データソース：中国医療機器協会